

2019年度
第2回



機械保全技能検定

特級
1級・2級

受検案内

本受検案内は2019年度実施の機械保全職種特・1・2級の受検案内です

技能検定とは、働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。

公式サイト : <https://www.kikaihozenshi.jp/>

試験実施に関する変更事項や受検者への通知事項がある場合など試験実施に関する最新の情報は、公式サイトに掲載します。
必ず公式サイトで最新の情報を確認してください。

[受検申請期間]

インターネット申請:2019年9月9日(月)10:00～10月4日(金)18:00
郵送申請:2019年9月9日(月)～9月27日(金)消印有効



昨年度との変更点と注意事項(必ずご確認ください)

<変更点>

職業訓練法人日本技能教育開発センター(以下、JTEX)で、職業訓練短期課程機械保全コースを修了(合格)した方は免除付受検申請が可能になりました。

ただし、2017年度以降の修了(合格)に限ります。詳細は、受検案内P.10をご確認ください。

<注意事項>

本人確認書類の提出にともない下記の事例が多数発生していますので、申請前に必ず確認していただき、下記事例を含めて申請に間違いがないように注意してください。

①本人確認書類の記載事項と申請書記載内容の不一致

氏名、生年月日が不一致の場合、本人確認書類を正式な情報として取り扱います。

特に氏名に外字がある場合(例:斉藤の「斉、斎、齋」、山崎の「崎、崎、寄」、高橋の「高、高」、渡辺の「辺、部、邊、邊」など)は本人確認書類の記載通りに記載してください。

②所定の本人確認書類以外の書類の提出

原則として、「運転免許証、健康保険証、学生証(学生のみ)」の提出をお願いします。運転免許証、健康保険証、学生証をお持ちでない場合は、受検サポートセンターまでお問い合わせください。

③不鮮明な本人確認書類のコピー・データの提出

不鮮明なコピーの場合、申請が受理できない場合がありますので、必ず氏名、生年月日が読み取れるか確認をお願いします。

昨年度との変更点と注意事項（必ずご確認ください）

Chapter1

機械保全技能検定 特級・1級・2級試験概要

- 1. 等級・作業 P.4
- 2. 試験方法と合格基準 P.4
- 3. 試験実施日 P.4
- 4. 受検区分と受検手数料 P.5
- 5. 受検資格 P.5
- 6. 試験の免除 P.9
- 7. 受検申請後の試験に関するスケジュール P.10
- 8. 免除付受検申請と一部合格者の合格証書交付申請 P.10

Chapter2

受検申請手続き

- 1. 受検申請上の注意点 P.11
- 2. 個人申請の流れ P.12
- 3. 団体申請の流れ P.13
- 4. 受検申請の前に（情報登録） P.14
- 5. マイページの利用方法 P.15
- 6. 受検申請期間・方法 P.16

Chapter3

試験実施地区

- 1. 特級、1級 学科試験、実技試験（電気系保全作業の実技試験を除く） P.20
- 2. 2級 学科試験、実技試験（電気系保全作業の実技試験を除く） P.21
- 3. 電気系保全作業 実技試験 P.22

Chapter4

郵送申請

- 1. 受検申請書記入にあたっての注意点 P.23
- 2. 団体とりまとめ票記入にあたっての注意点 P.24
- 3. 郵送方法と宛名ラベル P.25

Chapter5

FAQ（よくあるお問合せ）

- 1. FAQ（よくあるお問合せ） P.26

1. 等級・作業

- (1) 等級
・特級、1級、2級
- (2) 作業
・機械系保全作業、電気系保全作業、設備診断作業(特級には、作業の区分はありません)

2. 試験方法と合格基準

学科試験

等級(作業)	出題形式・出題数	解答方法	試験時間
特級(一)	五肢択一 50問	マークシート方式	120分
1級(全作業)	真偽法 25問、四肢択一 25問	マークシート方式	100分
2級(全作業)	真偽法 25問、四肢択一 25問	マークシート方式	100分

<合格基準:加算法で100点満点として65点以上で合格>

実技試験

作業と等級	実施方法・出題数	解答方法	試験時間
特級	計画立案等作業試験・10課題	マークシート方式 (一部記述方式)	150分
機械系保全作業 (1級・2級)	判断等試験・8課題	マークシート方式	80分
電気系保全作業 (1級・2級)	製作等作業試験・2課題	作業採点 (一部マークシート方式) ※工具等の持参が必要	110分
設備診断作業 (1級・2級)	判断等試験 1級10課題・2級8課題	マークシート方式	1級:100分 2級:80分

<合格基準:減点法で41点以上の減点がない場合は合格>

※必要な工具は公式サイトに掲載しております

3. 試験実施日

等級	作業	試験区分	試験実施日(期間)
特級	—	学科・実技	2020年1月19日(日) 学科試験(午前)・実技試験(午後)
1級	機械系保全作業	学科・実技	
	設備診断作業	学科・実技	
	電気系保全作業	学科	
2級	機械系保全作業	学科・実技	2019年12月15日(日) 学科試験(午前)・実技試験(午後)
	設備診断作業	学科・実技	
	電気系保全作業	学科	
1級・2級	電気系保全作業	実技	2019年12月7日(土)~2020年2月23日(日) 期間内の土曜日・日曜日に実施

4. 受検区分と受検手数料

<特級・1級・2級(2019年4月1日時点で35歳以上の方)>

受検区分	受検手数料(非課税)
区分A: 学科試験・実技試験両方の受検	19,400円
区分B: 学科試験のみ受検	4,000円
区分C: 実技試験のみ受検	15,400円

<2級(2019年4月1日時点で35歳未満の方)>

※1984年(昭和59年)4月2日生まれ以降の受検者が該当

受検区分	受検手数料(非課税)
区分A: 学科試験・実技試験両方の受検	10,400円
区分C: 実技試験のみ受検	6,400円

5. 受検資格

受検申請する際には受検資格No.が必要になりますので、下記の受検資格について、よくご確認いただき受検申請をしてください(特級は除く)。

受検資格は原則として、機械保全に関する業務に就いていた実務経験年数により判定します。

実務経験年数が受検資格に満たない場合は、技能検定の合格歴、学校の卒業歴や職業訓練歴などで短縮されることがあります。

各受検者の受検資格については「(2)受検資格と受検申請方法について」と「(3)各等級の受検資格(短縮要件)」で、受検申請方法と受検資格No.を確認してください。

(1) 実務経験年数

① 受検に必要な実務経験年数

等級	受検に必要な実務経験年数
特級	1級合格後5年以上
1級	7年以上
2級	2年以上

② 機械保全に関する業務(例)

- ・機械、設備の保全計画の作成
- ・機械、設備に生ずる欠陥の発見
- ・機械、設備の異常時の対応
- ・機械、設備状況の測定データの収集
- ・機械、設備状況の測定データの解析および判定
- ・機械、設備の保全方法の決定および処置

※機械保全に関する管理監督、訓練、教育、研究に関する業務、入職後の訓練・教育を受けた期間も含まれます

③ 実務経験年数の算出方法

機械保全に関する業務に就いた日から受検申請最終日「2019年10月4日(金)」までです。

「1級合格後」は、1級合格日の翌日から受検申請最終日までを算出してください。

(2) 受検資格と受検申請方法について

下表と(3)受検資格一覧表と併せて申請者の受検資格Noと受検申請方法をご確認ください。

等級	受検資格（短縮要件）とNo		申請方法	備考
特級	1級技能士合格後 実務経験年数5年	-	インターネット申請 郵送申請	受検資格 No は不要
1級	A 実務経験年数	A-1	インターネット申請 郵送申請	郵送申請の場合は1級受検申請書で申請
	B 技能士合格	B-2、B-3		
	C 学校卒業	C-4~C-12		
	D 普通職業訓練修了	D-13~D-25	郵送申請のみ	郵送申請の場合は1級受検申請書で申請 ※インターネット申請はできません
	E 高度職業訓練修了	E-26~E-32		
	F 指導員訓練修了等	F-33~D-45		
	G 個別認定の職業訓練	G-46		
2級	A 実務経験年数	A-51	インターネット申請 郵送申請	郵送申請の場合は2級受検申請書で申請
	B 技能士合格	B-52		
	C 学校卒業	C-53~C-58		
	D 普通職業訓練修了	D-59~D-65	郵送申請のみ	郵送申請の場合は2級受検申請書で申請 ※インターネット申請はできません
	E 高度職業訓練修了	E-66~E-72		
	F 指導員訓練修了等	F-73~F-85		
	G 個別認定の職業訓練	G-86		

※団体申請で受検資格No.A、B、Cと受検資格No.D、E、F、Gが混在する場合

1) 郵送申請で受検申請を行ってください。

2) インターネット申請は受検資格No.A、B、Cのみ可能です。

受検資格No.D、E、F、Gの受検者がいる場合は、A、B、Cとは別に団体登録をして申請してください。ご不明な点がある場合は、受検サポートセンターへお問い合わせください。

(3) 各等級の受検資格(短縮要件)

① 特級(受検資格一覧表)

特級の受検資格は下表の通り1種類で、短縮要件はありません。

受検申請は「団体×個人×インターネット申請×郵送申請」のすべて行っていただけます。

受検資格区分	受検資格No.	受検資格の内容	合格後の実務経験年数
技能士合格と 実務経験年数	—	1級 機械保全技能検定合格	5年以上

② 1級(受検資格一覧表)

下表の中から該当する受検資格を確認し、受検申請を行ってください。

受検資格No.B～Gの方は「受検資格の内容」を満たした後に記載の実務経験年数が必要です。

受検資格区分	受検資格No.	受検資格の内容	合格・卒業・修了後の 実務経験年数	
A 実務経験年数	A-1	機械保全に関する実務経験7年以上	—	
B 技能士合格	B-2	2級 機械保全技能検定合格	2年以上	
	B-3	3級 機械保全技能検定合格	4年以上	
C 学校卒業	C-4	高校卒業(機械保全職種に関する学科)	6年以上	
	C-5	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・大学入学資格付与課程に限る)		
	C-6	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・授業時間数800時間以上)		
	C-7	短大・高専・高校専攻科卒業(機械保全職種に関する学科)	5年以上	
	C-8	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・大学編入資格付与課程に限る)		
	C-9	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・授業時間数1600時間以上)		
	C-10	大学・大学院卒業(機械保全職種に関する学科)	4年以上	
	C-11	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・大学入学資格付与課程に限る)		
	C-12	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・授業時間数3200時間以上)		
	D 普通 職業訓練修了	D-13	短期課程【機械保全科】修了(授業時間数700時間以上)	6年以上
D-14		普通課程 機械系【機械加工科】修了(授業時間数2800時間未満)	5年以上	
D-15		普通課程 機械系【精密加工科】修了(授業時間数2800時間未満)		
D-16		普通課程 機械系【機械技術科】修了(授業時間数2800時間未満)		
D-17		普通課程 電気電子系【製造設備科】修了(授業時間数2800時間未満)		
D-18		普通課程 電気電子系【電気機器科】修了(授業時間数2800時間未満)		
D-19		普通課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了(授業時間数2800時間未満)	4年以上	
D-20		普通課程 機械系【機械加工科】修了(授業時間数2800時間以上)		
D-21		普通課程 機械系【精密加工科】修了(授業時間数2800時間以上)		
D-22		普通課程 機械系【機械技術科】修了(授業時間数2800時間以上)		
D-23		普通課程 電気・電子系【製造設備科】修了(授業時間数2800時間以上)		
D-24		普通課程 電気・電子系【電気機器科】修了(授業時間数2800時間以上)		
D-25		普通課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了(授業時間数2800時間以上)		
E 高度 職業訓練修了		E-26	専門課程(特定専門課程) 機械システム系【生産技術科】修了	3年以上 2級合格の場合:1年以上 3級合格の場合:2年以上
		E-27	専門課程(特定専門課程) 機械システム系【メカトロニクス技術科】修了	
	E-28	専門課程(特定専門課程) 電気・電子システム系【電気技術科】修了		
	E-29	専門課程(特定専門課程) 電気・電子システム系【電気エネルギー制御科】修了	1年以上	
	E-30	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産機械システム技術科】修了		
	E-31	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産電子システム技術科】修了		
	E-32	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産電気システム技術科】修了		
F 指導員 訓練修了等	F-33	長期課程【精密機械システム工学科】修了	1年以上	
	F-34	長期課程【機械制御システム工学科】修了		
	F-35	長期課程【電気システム工学科】修了		
	F-36	長期課程【機械システム工学科】修了		
	F-37	短期養成課程 機械系【機械加工科】修了		
	F-38	短期養成課程 機械系【精密加工科】修了		
	F-39	短期養成課程 機械系【機械技術科】修了		
	F-40	短期養成課程 電気・電子系【製造設備科】修了		
	F-41	短期養成課程 電気・電子系【電気機器科】修了		
	F-42	短期養成課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了		
	F-43	指導員免許【機械科】取得		
	F-44	長期養成課程【機械指導科】修了	0年(問わない)	
F-45	長期養成課程【電気指導科】修了			
G 個別認定の 職業訓練	G-46	公式サイトの「当協会が個別に認定した機械保全技能検定における職業訓練による受検資格(短縮要件)」で確認してください。		

機械保全職種に関する学科の目安は次のページへ▶▶▶▶

③ 2級(受検資格一覧表)

下表の中から該当する受検資格を確認し、受検申請を行ってください。

受検資格No.B～Gの方は「受検資格の内容」を満たしていれば、実務経験は問いません。

受検資格区分	受検資格No.	受検資格の内容	合格・卒業・修了後の 実務経験年数
A 実務経験年数	A-51	機械保全に関する実務経験2年以上	—
B 技能士合格	B-52	3級機械保全技能検定合格	
C 学校卒業	C-53	高校卒業（機械保全職種に関する学科）	0年（問わない）
	C-54	短大卒業（機械保全職種に関する学科）	
	C-55	高専卒業（機械保全職種に関する学科）	
	C-56	専修学校卒業（機械保全職種に関する学科）	
	C-57	高校専攻科卒業（機械保全職種に関する学科）	
	C-58	大学・大学院卒業（機械保全職種に関する学科）	
D 普通 職業訓練修了	D-59	短期課程【機械保全科】修了	
	D-60	普通課程 機械系【機械加工科】修了	
	D-61	普通課程 機械系【精密加工科】修了	
	D-62	普通課程 機械系【機械技術科】修了	
	D-63	普通課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	D-64	普通課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
E 高度 職業訓練修了	E-66	専門課程（特定専門課程） 機械システム系【生産技術科】修了	
	E-67	専門課程（特定専門課程） 機械システム系【メカトロニクス技術科】修了	
	E-68	専門課程（特定専門課程） 電気・電子システム系【電気技術科】修了	
	E-69	専門課程（特定専門課程） 電気・電子システム系【電気エネルギー制御科】修了	
	E-70	応用課程（特定応用課程） 生産システム技術系【生産機械システム技術科】修了	
	E-71	応用課程（特定応用課程） 生産システム技術系【生産電子システム技術科】修了	
F 指導員 訓練修了等	F-72	応用課程（特定応用課程） 生産システム技術系【生産電気システム技術科】修了	
	F-73	長期課程【精密機械システム工学科】修了	
	F-74	長期課程【機械制御システム工学科】修了	
	F-75	長期課程【電気システム工学科】修了	
	F-76	長期課程【機械システム工学科】修了	
	F-77	短期養成課程 機械系【機械加工科】修了	
	F-78	短期養成課程 機械系【精密加工科】修了	
	F-79	短期養成課程 機械系【機械技術科】修了	
	F-80	短期養成課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	F-81	短期養成課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
	F-82	短期養成課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了	
	F-83	指導員免許【機械科】取得	
	F-84	長期養成課程【機械指導科】修了	
	F-85	長期養成課程【電気指導科】修了	
G 個別認定の 職業訓練	G-86	公式サイト「当協会が個別に認定した機械保全技能検定における職業訓練による受検資格（短縮要件）」で確認してください。	

※機械保全に関する学科の目安について

- 工業高校などの場合 ○:機械科、電気科、機械工学科など
×:普通科、商業科、土木科、建築科など
- 大学・短大などの場合 ○:工学部 機械工学科、電気工学科など
×:文系学科・学部(文学、経済、経営、法)、医学部など

ご不明な場合は公式サイトのお問い合わせフォームにてお問い合わせください。

※お問い合わせ・ご相談内容欄に正式な学校名・学科名を入力してください

※お調べしてご回答します。回答までに数日間要する場合があります

※学校卒業は、受検資格に当てはまる学歴をご記入ください(最終学歴を書く必要はありません)

The image shows the top part of the JIMM (Japan Institute of Plant Maintenance) website. At the top right, there is a red button labeled 'お問い合わせ' (Contact Us) with an arrow pointing to it. Below the header, there is a navigation menu with options for '個人受検者の方はこちら' (For individual applicants), '団体受検者の方はこちら' (For group applicants), and '団体責任者の方はこちら' (For group supervisors). The main content area features a 'お知らせ(ニュース・更新情報)' (Notice/News/Update Information) section with a list of recent news items, including dates like 2019/05/28 and 2019/05/15. On the right side of the notice section, there are three circular icons: 'よくある質問' (Frequently Asked Questions), '合格発表・番号検索' (Exam Results/Number Search), and '過去の試験問題' (Past Exam Questions).

6. 試験の免除

機械保全技能検定における試験の免除は下記の通りです。

(1) 技能検定合格または一部合格による試験の免除

対象		技能検定試験の免除の範囲				備考
		特級	1級	2級	3級	
特級	実技試験のみ合格	実技試験免除	-	-	-	特級の実技試験または学科試験に合格した日から5年間（最終年は年度終わりまで）有効
	学科試験のみ合格	学科試験免除	-	-	-	
1級	技能士合格	-	-	学科試験免除		
	実技試験のみ合格	-	-	実技試験免除		同一作業に限る
	学科試験のみ合格	-	-	学科試験免除		同一作業に限る
2級	技能士合格	-	-	学科試験免除		
	実技試験のみ合格	-	-	実技試験免除		同一作業に限る
	学科試験のみ合格	-	-	学科試験免除		同一作業に限る
3級	技能士合格	-	-	-	学科試験免除	
	実技試験のみ合格	-	-	-	実技試験免除	同一作業に限る
	学科試験のみ合格	-	-	-	学科試験免除	同一作業に限る

(2) 職業訓練による試験の免除

職業訓練の種類	訓練課程	訓練期間	訓練系等	専攻科等	学科試験免除	備考
普通職業訓練	短期課程	短期	(1級または2級) 技能士コース	機械保全科	○	修了時試験合格が必要
高度職業訓練	専門課程 (特定専門課程)	長期 (2年)	機械システム系	生産技術科	○	1級：技能照査合格＋合格後実務経験4年以上 2級：技能照査合格
			電気・電子システム系	電気エネルギー制御科	○	
	応用課程 (特定応用課程)	長期 (2年)	生産システム技術系	生産電気システム技術科	○	特級：技能照査合格＋合格後実務経験5年以上 1級：技能照査合格＋合格後実務経験2年以上 2級：技能照査合格
職業訓練指導員免許	-	-	-	機械科	○	特級は除く

※訓練中の場合は、資格を満たしません

(3) 当協会が個別に認定した職業訓練による試験の免除

施設の名称	訓練課程	訓練科	総訓練時間の区分	学科試験免除	修了者の適用の範囲
群馬県立前橋産業技術専門学校	普通課程	CAD技術科（機械製図科）	2,800時間以上	○	平成27年3月修了者以降 2級：技能照査合格 ※1級は免除になりません
東京都立多摩職業能力開発センター	普通課程	計測機器製造科（機械組立技術科）	2,800時間未満	○	平成24年3月修了者以降 2級：技能照査合格 ※1級は免除になりません
三重県立津高等技術学校	普通課程	メカトロニクス系 メカトロニクス科 (機械制御システム科)	2,800時間以上	○	平成19年4月修了者以降 2級：技能照査合格 ※1級は免除になりません
広島県立技術短期大学校	専門課程	制御技術科	2,800時間以上	○	平成21年4月以降修了者 1級：技能照査合格＋合格後実務経験4年以上 2級：技能照査合格
職業能力開発総合大学校	専門課程	機械システム系 制御技術科	-	○	平成6年3月修了者～平成24年3月修了者 1級：技能照査合格＋合格後実務経験4年以上 2級：技能照査合格
東海職業能力開発大学校	専門課程	機械システム系 産業機械科	-	○	平成6年3月修了者～平成14年3月修了者 1級：技能照査合格＋合格後実務経験4年以上 2級：技能照査合格

(4) 技能検定委員歴による試験の免除

対象者	技能検定試験の免除の範囲				備考
	特級	1級	2級	3級	
技能検定委員として通算2年以上実技試験を担当した方 ※都道府県、指定試験機関のいずれも可	-	実技の全部			同一作業に限る
技能検定委員として通算2年以上試験問題作成を担当した方 ※中央技能検定委員、指定試験機関のいずれも可	-	学科および実技の全部			

試験の免除については、公式サイトにて「等級別」でも、ご確認いただけます。

▶ <https://www.kikaihozenshi.jp/points/>

7. 受検申請後の試験に関するスケジュール

(1) 電気系保全作業 実技試験問題(概要)の事前公開

2019年11月8日(金)

・その他の作業は「出題例」として公式サイトに掲載してあります。

(2) 受検票の発送

個人発送:2019年11月13日(水)

団体発送:2019年11月20日(水)

- ・1週間程度でお手元に届かない場合、紛失した場合は、受検サポートセンターへご連絡ください。
- ・学科試験・実技試験それぞれの受検票を送付いたします。
- ・受検票の注意事項をよく読んで試験の準備を行ってください。
- ・受検票記載の情報は11月13日(水)からマイページでも確認できます(個人の郵送申請のぞく)

(3) 正解の公表

特級・1級:2020年1月24日(金)10:00～

2級:2019年12月20日(金)10:00～

・正解は公式サイトにて公表します(電気系保全作業実技試験は正解の公表はありません)。

(4) 合格発表・結果通知

2020年3月23日(月)

- ・合格発表は公式サイト(受検番号のみ)とマイページ(氏名、合否、得点など)でも公表します。
- ・受検者、申請者全員(不合格・欠席含む)に試験結果通知書を送付します。
- ・受検番号、合否に関するお問合せにはお答えできません。

(5) 合格証書の発送

2020年4月20日(月)

- ・学科試験・実技試験を受検して合格した(技能士合格の方)には、合格証書が交付されます。
- ・受検申請時に免除付受検申請欄へ必要項目を記入し、確認が取れた方にも合格証書が交付されます。
- ・試験結果通知書に一部合格と記載されている方は、合格証書交付申請が必要です。

8. 免除付受検申請と一部合格者の合格証書交付申請

(1) 免除付受検申請

下記の方は免除付受検申請を行ってください。免除付申請として取扱い、2019年度第2回試験で一部合格すると、合格証書が交付されます。

- (1) 平成27年度以降の試験で技能士合格または一部合格した方
- (2) 平成27年度以降に合格証書交付申請で技能士合格した方
受検申請書の必要項目に技能士番号または合格通知番号を記入してください。

技能士番号または合格通知番号が不明の方は下記のサイトで番号を検索できます。

▶<https://www.cbtsol.com/kikaihozen/result/>

- (3) JTEXで2017年度以降に職業訓練短期課程機械保全コースを修了(合格)した方
受検申請書の必要項目にJTEXの受講番号を記入してください。

(2) 合格証書交付申請

2019年度第2回試験で一部合格し、下記項目にあてはまる方は合格証書交付申請を行ってください。

- (1) 学科試験または実技試験の免除資格(試験合格以外)を有している方
- (2) 平成26年度以前に学科試験または実技試験に一部合格した方
- (3) 平成26年度以前に技能士合格した方
- (4) 平成27年度以降に合格証書交付申請で技能士合格した方

合格証書交付申請の詳細は公式サイトでご確認ください。

▶<https://www.kikaihozenshi.jp/passing/>

1. 受検申請上の注意点

下記の注意事項をよく読んで、申請をお願いします。

(1) 個人情報の取扱い

受検申請手続きで登録・申請いただく情報は、機械保全技能検定試験を実施するために必要なものに限っており、機械保全技能検定試験の実施運営および試験に関する情報提供のみに利用いたします。

(2) 受検手数料について

- ・支払期限までに受検手数料のお支払いがない場合、受検申請は無効になります。
- ・職業能力開発促進法施行令の規定により、**受検申請受理後は、受検をしなかった場合であっても受検手数料の返還はいたしません。**次回以降の受検手数料に充当することもできません。ただし、天災・その他受検者の責に帰することのできない事由により受検できなかった場合は返還することがあります。
- ・受検手数料以外に決済方法により、振込手数料や事務手数料(80円)がかかります。また、振込手数料や事務手数料は申請者のご負担となります。

(3) 受検申請内容の変更など

- ・**受検申請後に、申請内容の変更はできません。**ただし、住所、氏名、連絡先などの受検者個人の属性に関する事項に限り変更可能です。該当事象が発生した場合、速やかに受検サポートセンターに連絡をしてください。
- ・受検申請書提出後に転居や住所などに変更があった場合は、受検票や試験結果通知など通知物が届かない場合がありますので、必ず郵便局の転居・転送サービスなどをご利用ください。

(4) 障がいのある方、介助が必要な方

- ・障がいのある方で、受検時に一定の配慮が必要な方や、試験当日に介助者など受検者以外の方の同伴が必要な場合は、受検申請後の10/8(火)～10/11(金)の期間内に受検サポートセンターにご連絡ください。上記期間外や送付状、その他申請時の添付書類に記載頂いても受理できませんので、予めご了承ください。

(5) 感染症(インフルエンザ等)への対応について

- ・試験当日、インフルエンザ等の感染症に感染し治癒していない受検者は、他の受検者や検定委員、運営スタッフなどへの感染のおそれがありますので受検することができません。

(6) 個人申請と団体申請について

受検申請は原則として受検者本人からの申請となります。

ただし、学校や企業などの団体で受検者をとりまとめる場合は、とりまとめ担当者による**代理申請も可能です**が、**必ず受検者本人の同意(確認)を得てください。**

代理申請による受検申請内容に不備があり受検できなかった場合や、不便・費用の不利益が発生しても当会は責任を負いかねます。

(7) 本人確認書類の提出について

全受検申請者の本人確認書類(運転免許証、保険証等の写し等)の貼付またはアップロードが必要となります。

本人確認書類の提出がない場合は、受検申請を受理できませんので、ご注意ください。

提出方法は申請方法により異なりますので、申請ごとに確認してください(P12～13参照)。

＜本人確認書類として認められる証明書類の例＞

- ①生徒手帳、学生証(生年月日・氏名が記載されていること)
- ②健康保険被保険者証
- ③運転免許証

※上記の証明書類でも氏名および生年月日が確認できないものは、認められません

※学生の方の場合、所属する学校の責任者(教諭・校長)の署名により、本人確認書類貼付の代替とすることができます(受検申請書の貼付欄内に署名捺印ください)

※①～③以外の証明書類の場合は、受検サポートセンターまでお問合せください

(8) 受検申請時の受検資格について

該当する受検資格No.を、「Chapter 1 5.受検資格の(3)各等級の受検資格(短縮要件)」で受検者本人が確認してください(特級は不要)。受検申請時に受検資格No.が必要となります。

(9) 電気系保全作業実技に必要な工具

公式サイトに掲載しております。電気系保全作業実技を受検する方は申請前にご確認ください。

2. 個人申請の流れ

受検案内の参照

受検案内は、最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえで、申請してください。
申請された場合は、受検案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします。

インターネット申請

受検案内確認

9月2日13:00～10月4日18:00
個人情報登録(マイページ登録)

9月9日10:00～10月4日18:00
受検申請
申請情報を入力
本人確認書類をアップロード
受検手数料決済

郵送申請

受検案内確認

9月9日～9月27日消印有効
受検申請
受検申請書記入・本人確認書類を貼付

11月8日発送
払込取扱票の受取り

11月29日まで
受検手数料支払い

個人:11月13日

受検票発送

試験

3月23日

合格発表・結果通知

4月20日

合格証書交付

※インターネット申請の場合、マイページから領収証のダウンロードや試験結果の確認が可能です

3. 団体申請の流れ

受検案内の参照

受検案内は、最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえで、申請してください。
申請された場合は、受検案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします。

受検案内確認

9月2日13:00～10月4日18:00 団体情報登録・団体申請コード取得

インターネット申請

9月9日10:00～10月4日18:00

受検者ごとの個人情報登録
(マイページ登録)
受検申請
団体申請コードの入力
本人確認書をアップロード

郵送申請

9月9日～9月27日消印有効

受検申請
受検申請書記入・本人確認書類を貼付
団体申請コードの記入
団体とりまとめ票を同封

団体情報登録で選択した決済方法で受検手数料の支払い

9月9日～10月4日

個人支払い×インターネット申請
受検手数料決済

10月29日～11月29日

団体一括支払い×インターネット申請
請求書ダウンロード

10月29日～11月29日

団体一括支払い×郵送申請
請求書ダウンロード

11月8日発送

個人支払い×郵送申請
払込取扱票を受取り

11月29日まで
指定口座に振込

11月29日まで
指定口座に振込

11月29日まで
受検手数料支払い

個人:11月13日
団体:11月20日

受検票発送

日程は等級・作業により異なります

試験

3月23日

合格発表・結果通知 (個人:3月23日/団体:3月30日発送)

4月20日

合格証書交付

【団体一括請求(支払い)における注意点】

振込先口座は、試験開催ごと(毎回)に変更になりますので、必ず請求書に記載されている振込先口座番号に振り込んでください。
過去に使用された振込先口座番号は使用できません。

4. 受検申請の前に(情報登録)

受検申請の前に以下の情報を設定していただく必要があります。

※団体申請の場合は、すべての団体で情報登録が必要です(郵送申請の場合も必要です)

※個人申請の場合は、インターネット申請の場合のみ情報登録が必要です

※すでに下記1.と2.が登録済みでID・PWをお持ちの方は、9月2日以降にログインして「3.決済方法と各種送付先の登録」から情報登録してください

申請方法(インターネット・郵送申請)について

項目	インターネット申請	郵送申請
受検申請期間	9月9日(月)10:00～10月4日(金)18:00まで	9月9日(月)～9月27日(金)消印有効
受検手数料の決済方法	クレジットカード・コンビニ・ATM(個人) 請求書(団体)	払込取扱票(個人) 請求書(団体)
本人確認書類の提出	本人確認書類をアップロード	受検申請書に貼付 ※学生の場合は校長等の署名で代替可
マイページから閲覧可能な情報	受検者申請情報 受検者確定情報(11月13日掲載) 試験結果(3月23日掲載)	受検者申請情報(団体のみ) 受検者確定情報(11月13日掲載)(団体のみ) 試験結果(3月23日掲載)(団体のみ)

情報登録期間:9月2日(月)13:00～10月4日(金)18:00

1. メールアドレスの登録【未登録の方のみ】
2. 個人・団体情報(住所、電話番号など)の登録【未登録の方のみ】
団体情報の変更がある場合は、マイページから登録内容を変更してください。
3. 決済方法と各種送付先の登録(団体のみ)の選択【1.2.を登録済みの方はこちらから】
→団体申請コードを取得(1~3を登録しましたらマイページから確認できます)
登録済みの場合は、9月2日以降にログインしますと、表示されます。

The screenshot shows the '決済方法と各種送付先の登録' (Registration of payment methods and delivery addresses) page. It includes sections for 'ご注意' (Notes), '▼決済方法と申請方法' (Payment and application methods), and '▼各種送付先' (Various delivery destinations). The '決済方法' section has radio buttons for '団体一括請求(請求書による支払)' and '申込者個人での決済'. The '申請方法' section has radio buttons for 'インターネットから受検申請' and '紙での受検申請'. The '各種送付先' section has radio buttons for '受検者個人宛に送付' and '登録団体の担当書宛に一括送付' for each of the three categories: '受検票の送付先', '結果通知書の送付先', and '合格証書の送付先'.

The screenshot shows the user's profile page. It displays the '団体申請コード' (Group application code) as E1234567. Below this, there are buttons for '団体情報と住所の更新ダウンロード', '紙 受検票ダウンロード', and '紙 結果通知書ダウンロード'. The page also shows the user's login information and a note about the application period.

※団体申請コードは試験回ごとに新たに発行されます。昨年度の団体申請コードは使えません

① 決済方法

領収書について

受検者ごとに領収書が必要な場合、情報登録で決済方法は「申込者個人での決済」を選択してください。「団体一括請求」を選択された場合、受検者ごとの領収書は発行できません。

② 申込方法

③ 受検票の送付先

④ 結果通知書の送付先

⑤ 合格証書の送付先

①～⑤を選択してください。

団体が個人支払いの場合は、払込取扱票の送付先も選択してください

※①～⑤の方法などを団体内で分けたい場合は団体登録を複数回行ってください。団体登録は1社で何件でも登録可能です

5. マイページの利用方法

公式サイトにアクセスし、ご登録いただいたIDとパスワードでログインすると、マイページへと進みます。受検申請から受検者確定情報、試験結果などの確認、登録内容の照会や変更などが行える受検申請者・団体窓口用の専用ページです。個人申請で郵送申請の場合は利用できません。

1. 申請内容の照会

(1) 申請情報の確認【個人&団体】

受検申請後確認入力が完了しましたら、申請内容(氏名、等級、作業、区分、受検手数料、希望受検地など)が確認できます(郵送申請の場合は、掲載まで時間がかかることがあります)。

(2) 請求書のダウンロード【団体のみ】

10月29日(火)~請求書のダウンロードが可能です。申請人数、受検区分、振込金額を確認のうえ、支払期限11月29日までに振込みをお願いします。

(3) 受検者情報(確定情報)のダウンロード【団体のみ】

11月13日(水)~受検者情報(受検番号、氏名、等級、作業、区分、試験日、試験会場、集合時間)のダウンロードが可能です。

2. 試験結果

合格発表日に開催回の試験結果情報が掲載されます。公式サイトでの合格発表ページでは、合格者の受検番号のみの表記ですが、マイページでは受検者氏名ごとに可否と点数などが確認できます。また、CSVデータでのダウンロードも可能です。

3. 個人あるいは団体情報の照会・変更

(1) 基本情報(IDやPWなど)

(2) 団体所在地、連絡先など

個人あるいは団体情報は、一度登録されると繰り返しご利用いただけます。試験回ごとに新たにご登録いただく必要はございません。

すでにご登録されている方は、受検申請前に必ず最新の情報になっているかを確認してください。



6. 受検申請期間・方法

1 インターネット申請

受検申請期間: 9月9日(月)10:00 ~ 10月4日(金)18:00

<https://www.kikaihozenshi.jp>

早めに情報登録、受検申請を行ってください。

申請手順につきましては、公式サイトにございますインターネット申請マニュアルをご参照ください。

インターネット申請マニュアルは、9月2日に公式サイトで公開します。

お知らせ: 受検申請はスマートフォン・タブレットが利用できます!

1. 申請手順の概要

(1) 個人申請の場合(P.12参照)

- ①入力フォームにしたがって申請情報を入力
- ②本人確認書類のアップロード
- ③情報登録時に選択した支払い方法で受検手数料をお支払い
.....申請完了.....

(2) 団体申請の場合

- ①団体申請コード(P.13)の周知(個人支払の場合)
- ②入力フォームにしたがって申請情報を入力
- ③本人確認書類のアップロード
- ④情報登録時に選択した支払い方法で受検手数料をお支払い
 - 1) 個人支払い(クレジットカード/コンビニ/ATM)
 - 2) 団体一括支払い(請求書).....申請完了.....

団体一括支払い(請求書)の支払期限: 11月29日(金)

※受検申請内容と請求書の内容が異なる場合は、受検サポートセンターにご連絡ください

※支払期限までに入金がない場合は、受検できません

インターネット申請の概要と本人確認書類のアップロードについて

インターネット申請概要



インターネット申請する前に確認すること

- ① 団体または個人情報登録はお済みですか？(P.14参照)
- ② 本人確認書類は必ずカメラ機能で撮影し、写真データは端末に保存されていますか？
※jpgファイルを準備
※スクリーンショットで撮影した画像はアップロードできませんのでご注意ください
- ③ 申請にかかる時間は10分～15分程度です。



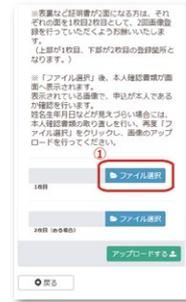
級作業を選択後、①～⑧の項目を入力・選択

- ① 作業区分
- ② 基本情報の確認 ※登録時と変更がある際は、変更後の情報を入力ください。
- ③ 本人確認書類アップロード (詳細はP.13参照)
- ④ 申込情報登録 ※職業を選択ください。
- ⑤ 受検地選択
- ⑥ 申込内容確認
- ⑦ お支払い手続き ※クレジット支払いの場合はカード情報を入力ください。
- ⑧ 申込完了

本人確認書類のアップロード方法

パソコン画面

スマートフォン画面



- ①ファイル選択をクリック
- ②保存したフォルダから該当の写真ファイル (jpgファイル) を選択



- ③選択した画像が画面に反映されますので、氏名、生年月日がはっきり見えることを確認し、右下の「アップロードする」をクリック

- ※本人確認書類が画面の端に写っている・小さく写っている際は、左の側の「画像の切り取り」部分で切り取り処理が可能です(下記参照)
- ※アップロードを中止する際は、「アップロードをやめる」をクリックください
- ※表裏など証明書が2枚になる場合、「2枚目(ある場合)」のファイル選択から同じ手順でアップロードください
- ※本人確認書類の全体が表示されるようアップロードしてください(氏名・生年月日のみの一部を切り取った書類は無効となります)

問題なくアップロードが完了すると次の項目「申込情報登録」の画面へ移行します

画像の切り取りについて



グレーになっている部分は反映されず青色の枠線内のみ反映されます。
必ず本人確認書類の全体が表示されるよう調整してください。
写真ファイルに本人確認書類以外の物が写っている場合、本人確認書類のみ青色の枠線内に入れてください。
現在どこが選択されているかは右の「アップロードする画像の確認」でご確認いただけます。

2 郵送申請

受検申請期間:9月9日(月)～9月27日(金)消印有効

※インターネット申請よりも申請期間が短いのでご注意ください

受検申請書は、公式サイトからダウンロード可能です。
団体・企業の場合は受検案内に同封してお送りします。

【送付先】

〒277-8691

日本郵便株式会社 柏郵便局

私書箱第5号

機械保全技能検定 受検サポートセンター宛

※郵便物以外（宅配便・バイク便等）は受け取りできません

※P.25の宛名ラベルをご利用ください

(1)個人申請の場合

- ①記入（本人確認書類を貼付）した受検申請書を簡易書留で郵送
 - ②受検サポートセンターより払込取扱票を送付
 - ③受検手数料を郵便局で払込み
-申請完了.....

(2)団体申請の場合

- ①下記の書類を簡易書留で郵送
 - ・記入（本人確認書類を貼付）した受検申請書×人数分
 - ・記入した団体とりまとめ票
- ※上記以外の送付状・メモなどは送付しないでください**

<個人支払い>

- ②個人支払い→受検サポートセンターより払込取扱票を送付
 - ③受検手数料を郵便局で払込み
-申請完了.....

<団体一括支払い>

- ②団体一括支払い→マイページから請求書をダウンロード
- ③請求書の指定口座に振込み

払込取扱票の発送:11月8日(金)

払込取扱票の支払期限:11月29日(金)

団体一括支払い(請求書)の支払期限:11月29日(金)

※受検申請内容と払込取扱票や請求書の内容が異なる場合は、受検サポートセンターにご連絡ください
※支払期限までに入金がない場合は、受検できません

1. 特級、1級 学科試験、実技試験（電気系保全作業の実技試験を除く）

全国統一試験日：2020年1月19日(日)

受検申請書の希望受検地区欄に受検を希望する受検地区を記入してください。

区分A(学科・実技両方受検)の方は、学科と実技で別の受検地区は選択できません。

受検地区名	1月19日(日)				受検地区名	1月19日(日)			
	1級			特級		1級			特級
	機械系・電気系 学科	機械系 実技	設備診断 学科・実技	学科・実技		機械系・電気系 学科	機械系 実技	設備診断 学科・実技	学科・実技
札幌	○	○	○	○	四日市・津	○	○	○	○
青森	○	○	—	—	大津・草津	○	○	○	○
盛岡	○	○	—	—	京都	○	○	○	○
仙台	○	○	○	○	大阪府内	○	○	○	○
秋田	○	○	—	—	神戸	○	○	○	○
山形	○	○	—	—	姫路	○	○	—	—
郡山	○	○	○	○	奈良	○	○	○	○
水戸	○	○	○	○	和歌山	○	○	—	—
宇都宮	○	○	○	○	鳥取	○	○	—	—
前橋	○	○	○	○	松江	○	○	—	—
太田	○	○	—	—	岡山	○	○	○	○
さいたま周辺	○	○	○	○	福山	○	○	—	—
千葉	○	○	○	○	広島	○	○	○	○
23区内	○	○	○	○	山口	○	○	○	○
横浜	○	○	○	○	周南	○	○	—	—
相模原	○	○	—	—	徳島	○	○	—	—
新潟	○	○	○	○	高松	○	○	○	○
富山	○	○	○	○	今治	○	○	—	—
金沢	○	○	○	○	高知	○	○	—	—
福井	○	○	○	○	北九州	○	○	—	—
甲府	○	○	—	—	福岡	○	○	○	○
松本	○	○	○	○	佐賀	○	○	—	—
岐阜・大垣	○	○	○	○	長崎	○	○	—	—
静岡	○	○	—	—	熊本	○	○	—	—
浜松・湖西	○	○	○	○	大分	○	○	—	—
豊橋	○	○	—	—	宮崎	○	○	—	—
岡崎	○	○	—	—	鹿児島	○	○	—	—
名古屋	○	○	○	○	那覇	○	○	○	○

【注意】

- 試験会場は、受検地区欄に記載の都市または周辺都市に設置します。
- 各試験会場の定員は、昨年度実施の受検者数を考慮し、一定割合の増加分を加味しています。
- 受検地区別に、想定以上の受検者の増加があった場合は、周辺地区への試験会場の変更をお願いする場合があります。
また、受検者が規定人数に満たない地区は、試験を実施しない場合があります。
※受検地区(試験会場)の決定は、受検票内でご案内します
- 1級電気系保全作業の実技試験は、受検案内P.22ページを確認してください。

2. 2級 学科試験、実技試験（電気系保全作業の実技試験を除く）

全国統一試験日：2019年12月15日(日)

受検申請書の希望受検地区欄に受検を希望する受検地区を記入してください。

区分A(学科・実技両方受検)の方は、学科と実技で別の受検地区は選択できません。

受検地区名	12月15日(日)			受検地区名	12月15日(日)		
	2級				2級		
	機械系・電気系 学科	機械系 実技	設備診断 学科・実技		機械系・電気系 学科	機械系 実技	設備診断 学科・実技
札幌	○	○	○	豊橋	○	○	—
青森	○	○	—	四日市・津	○	○	○
八戸	○	○	—	大津・草津	○	○	—
北上	○	○	—	京都	○	○	—
仙台	○	○	○	大阪府内	○	○	○
秋田	○	○	—	神戸	○	○	○
山形	○	○	—	姫路	○	○	—
郡山	○	○	○	奈良	○	○	—
水戸	○	○	—	和歌山	○	○	—
つくば	○	○	—	鳥取	○	○	○
宇都宮	○	○	—	松江	○	○	—
前橋	○	○	—	岡山	○	○	○
太田	○	○	—	福山	○	○	—
さいたま周辺	○	○	—	広島	○	○	○
千葉	○	○	—	山口	○	○	○
23区内	○	○	○	周南	○	○	—
横浜	○	○	○	徳島	○	○	—
相模原	○	○	—	高松	○	○	○
新潟	○	○	○	新居浜	○	○	—
富山	○	○	○	高知	○	○	—
金沢	○	○	—	北九州	○	○	—
福井	○	○	○	福岡	○	○	○
甲府	○	○	—	佐賀	○	○	—
松本	○	○	○	長崎	○	○	—
岐阜・大垣	○	○	○	熊本	○	○	—
静岡	○	○	—	大分	○	○	—
浜松・湖西	○	○	○	宮崎	○	○	—
名古屋	○	○	○	鹿児島	○	○	—
岡崎	○	○	—	那覇	○	○	○

【注意】

- 試験会場は、受検地区欄に記載の都市または周辺都市に設置します。
- 各試験会場の定員は、昨年度実施の受検者数を考慮し、一定割合の増加分を加味しています。
- 受検地区別に、想定以上の受検者の増加があった場合は、周辺地区への試験会場の変更をお願いする場合があります。
また、規程人数の受検者が満たない地区は、試験を実施しない場合があります。
※受検地区(試験会場)の決定は、受検票内でご案内します
- 2級電気系保全作業の実技試験は、受検案内P.22ページを確認してください。

3. 電気系保全作業 実技試験

試験実施期間:2019年12月7日(土)～2020年2月23日(日) ※期間内の土曜日・日曜日に実施

受検申請書の希望受検地区欄に受検を希望する受検地区を記入してください。

※受検地区は選択できますが、試験会場・試験日については選択(指定)できません

試験日程	【1級】受検地区名
12月7日(土)-8日(日)	秋田、水戸、高崎・前橋、千葉、横浜、金沢、松本、静岡、湖西、浜松、鈴鹿周辺、京都、神戸、岡山、山口、今治周辺、熊本、鹿児島
12月14日(土)-15日(日)	北上、山形、水戸、宇都宮、さいたま周辺、23区内、新潟、福井、岐阜・大垣、浜松、大津・草津、大阪府内、姫路、広島、徳島、北九州、大分
1月11日(土)-12日(日)	札幌、青森、仙台、郡山、横浜、富山、甲府、静岡、名古屋、鈴鹿周辺、大阪府内、鳥取、広島、高松、宮崎、那覇
2月22日(土)-23日(日)	名古屋 ※予備日

試験日程	【2級】受検地区名
1月11日(土)-12日(日)	青森、山形、松本、名古屋、那覇
1月18日(土)-19日(日)	札幌、宇都宮、高崎・前橋、さいたま周辺、横浜、富山、岐阜・大垣、浜松、鈴鹿周辺、大阪府内、岡山、福山、高松、長崎、大分
1月25日(土)-26日(日)	帯広、秋田、水戸、23区内、横浜、松本、静岡、湖西、鈴鹿周辺、京都、大阪府内、奈良、福山、今治周辺、熊本
2月1日(土)-2日(日)	北上、山形、水戸、千葉、横浜、金沢、静岡、浜松、名古屋、鈴鹿周辺、京都、大阪府内、神戸、和歌山、山口、宮崎
2月8日(土)-9日(日)	宇都宮、高崎・前橋、さいたま周辺、千葉、23区内、新潟、富山、福井、甲府、浜松、名古屋、大津・草津、鳥取、岡山、広島、北九州
2月15日(土)-16日(日)	仙台、郡山、宇都宮、甲府、岐阜・大垣、静岡、名古屋、大津・草津、大阪府内、神戸、姫路、松江、岡山、広島、徳島、佐賀、鹿児島
2月22日(土)-23日(日)	名古屋、※予備日

【注意】

- 試験会場は、受検地区欄に記載の都市または周辺都市に設置します。
- 受検地区は選択できますが、試験会場・試験日については選択(指定)できません。
- 各試験会場の定員は、昨年度実施の受検者数を考慮し、一定割合の増加分を加味しています。
- 受検地区別に、想定以上の受検者の増加があった場合は、周辺地区への試験会場の変更をお願いする場合や、予備日での開催をお願いする場合があります。
- 規程人数の受検者が満たない地区は、試験を実施しない場合があります。
※受検日・受検地区(試験会場)の決定は、受検票内でご案内します。

1. 受検申請書記入にあたっての注意点

(1) 記入する際の注意点

- ・黒インキ(ボールペン・万年筆など)を用いて、楷書と算用数字で丁寧に記入してください。
- ・記入する文字は略字・俗字などを使用しないでください。
- ・記入する学校名・会社名などに俗称や略称などを使用しないでください。

(2) 受検申請書

- ・受検する等級(特級・1級・2級)の受検申請書で申請してください

<参考:1級受検申請書>

受検申請書の入手方法

- ・受検申請書は公式サイトからダウンロード可能です。A3サイズで印刷してご使用ください。
- ・団体の場合は受検案内に同封して、各等級1枚申請書をお送りしていますので、A3サイズでコピーしてご使用ください。

<受検申請書を記入する際の注意点>

・申請区分

- 団体を選択した場合は、<団体情報>欄もご記入ください。

<受検者情報>

「氏名」、「生年月日」は必ず本人確認書類と同じ記載内容、記載の文字で記入してください。

相違がある場合は、本人確認書類を正式な申請情報とします。

<相違が出やすい例>

※外字の記載違い(崎と崎、斉と齊、辺と邊など)

※数字の読み取りづらい記入(0と6、1と7など)

自宅住所欄はお住まい先を必ずご記入ください(勤務先住所は不可)。

連絡先の電話、メールアドレスは勤務先でも結構です。

受検者情報欄の実務経験年数は、機械保全に関する業務に従事した通算年数を記入してください。

<本人確認書類(写し)貼付欄>

本人確認書類を貼付してください。本人確認書類として認められる証明書類は下記の通りです。

①運転免許証

②健康保険証

③学生証(氏名、生年月日が記載されていること)

※上記の証明書類でも氏名および生年月日が確認できないものは、認められません

※学生の方の場合、所属する学校の責任者(教諭・校長)の署名により、本人確認書類貼付の代替とすることができます(受検申請書の貼付欄内に署名捺印ください)。

※①~③以外の証明書類の場合は、受検サポートセンターまでお問合せください

<受検作業・区分・希望受検地区>

希望受検地区は、受検案内P.20(特級・1級)、P.21(2級)、P.22(電気系実技)から選択してください。

それ以外の地区名を記入した際は、ご希望の受検地区でご受検できない場合があります。

区分A(電気系保全作業は除く)で受検する方は、学科試験と実技試験の希望受検地区を別々に設定することはできません。

別々の受検地区を記入された場合は、事務局で1地区に設定させていただきますので、ご注意ください。

<受検資格>

等級ごとに受検案内P.7(1級)、P.8(2級)で、受検資格を確認し、該当する受検資格Noを記入してください。複数に該当する場合でも記入は1つの受検資格で結構です。

- ・受検資格Noで記入したアルファベットに従い□A~□Gの項目を記入してください。

受検申請書の記入例は公式サイトをご参考ください。

2. 団体とりまとめ票記入にあたっての注意点

- ・インターネットで行った「団体情報登録」・「申込み情報登録」と同じ内容を記入してください。
- ・登録内容は公式サイト内のマイページから確認いただけます。

<参考:団体とりまとめ票(左:企業・団体用、右:学校用)>

機械保全技能検定 団体とりまとめ票(企業・団体用)	
1. 団体情報確認 ※団体情報登録と同じ内容を入力してください	
団体申請コード	E
学校名(団体名)	
団体責任者氏名	(姓) (名)
〒 郵便・役職	
電話番号	
E-mailアドレス	
送付した申請書数	合計: 〇枚 (特設: 〇枚 1級: 〇枚 2級: 〇枚)
2. 送付前の確認 ※☑してご利用ください	
送付物	確認事項
団体とりまとめ票	<input type="checkbox"/> 記入漏れなし
受検申請書	<input type="checkbox"/> 記入漏れなし
本人確認書	<input type="checkbox"/> 記入した(送付した申請書数と受検申請書の枚数が同じである)
	<input type="checkbox"/> 受検申請書にコピーを貼付した
【送付先】 〒277-8691 日本郵便株式会社 柏郵便局 私書箱第5号 機械保全技能検定 受検サポートセンター	
【お問い合わせ】 機械保全技能検定 受検サポートセンター TEL: 03-5209-0553(平日 10:00~17:00) FAX: 03-5209-0552 E-mail: kkaikosen@dot-s.com	

機械保全技能検定 団体とりまとめ票(学校用)	
1. 団体情報確認 ※団体情報登録と同じ内容を入力してください	
団体申請コード	E
学校名(団体名)	
団体責任者氏名	(姓) (名)
〒 郵便・役職	
電話番号	
E-mailアドレス	
送付した申請書数	合計: 〇枚 (特設: 〇枚 1級: 〇枚 2級: 〇枚)
2. 受検申請者の本人確認に関する確認署名欄 受検申請書に本人確認署名を施していない場合は、工簿員への署名・捺印は不要です。 申請者が本校の在籍中で申請書の記載の年の生年月日、氏名であることを証明いたします。 署名者氏名: _____ 印 署名者の所属・役職: _____ ※必ず自署で記入し、押印してください	
3. 送付前の確認 ※☑してご利用ください	
送付物	確認事項
団体とりまとめ票	<input type="checkbox"/> 記入漏れなし
受検申請書	<input type="checkbox"/> 記入漏れなし
本人確認書	<input type="checkbox"/> 記入した(送付した申請書数と受検申請書の枚数が同じである)
	<input type="checkbox"/> 受検申請書にコピーを貼付した <input type="checkbox"/> 団体とりまとめ票に責任者が署名・押印を行った
【送付先】 〒277-8691 日本郵便株式会社 柏郵便局 私書箱第5号 機械保全技能検定 受検サポートセンター	
【お問い合わせ】 機械保全技能検定 受検サポートセンター TEL: 03-5209-0553(平日 10:00~17:00) FAX: 03-5209-0552 E-mail: kkaikosen@dot-s.com	

- ・「1. 団体情報確認」欄は、必ずすべて記入してください。
団体情報登録を行っていない場合は団体申請ができませんので受検案内P.14の通り団体情報登録をしてください。
- ・「2. 送付前の確認」欄は、送付する前に確認いただき、確認した項目に☑してください。

<その他>

- ・受検申請は原則として受検者本人が行うものです。団体申請者が代理申請を行う場合も受検申請は受検者本人が行ったものになりますので、必ず受検者本人に同意(確認)を得てください。代理申請による受検申請内容の不備があり受検できなかった場合や不便・費用の不利益などが発生しても当会は責任を負いかねます。
- ・**受検申請書、団体とりまとめ票の受理後は、受検申請の取消しおよび受検申請内容の変更はできません。**
- ・郵送申請の場合は受検申請書、団体とりまとめ票の記入内容、送付物を確認してからP.25の宛名ラベルを貼付のうえ、簡易書留でお送りください。
- ・受検申請時には一部合格を証明する書類等の添付の必要はありません。また、申請いただいた書類は返却いたしません。必要期間保管後に適切な方法にて処分させていただきます。

受検申請(郵送申請)の送付期限は、9月27日(金)消印有効です

【送付先】

〒277-8691

日本郵便株式会社 柏郵便局 私書箱第5号
機械保全技能検定 受検サポートセンター 宛
※郵便物以外(宅配便・バイク便等)は受け取りできません
※P.25の宛名ラベルをご利用ください

3. 郵送方法と宛名ラベル

郵送申請の送付先は下記になりますので、点線で切り取り、宛名として角2サイズの封筒に貼ってご利用ください。
※郵便物以外(宅配便・バイク便等)は受け取りできません

宛名ラベル 封筒貼付用【郵送申請用】

簡易書留

〒277-8691

日本郵便株式会社 柏郵便局
私書箱第5号

機械保全技能検定
受検サポートセンター宛

2019年度 第2回 機械保全技能検定
受検申請書 在中

1. FAQ（よくあるお問合せ）

受検申請について

Q. 試験会場・日程は選択できますか？

A. 受検地区については受検申請時に選択できますが、試験会場・日程については選択(指定)できません。受検票でご確認ください。

Q. 受検申請書に写真は必要ですか？

A. 受検申請書に写真を貼付する必要はありません。

後日、郵送される受検票に写真を貼って試験当日ご持参ください。

縦4cm×横3cm・正面・脱帽・6ヵ月以内に撮影された写真の裏面に氏名・受検番号を記入してください。

Q. 受検手数料は課税対象ですか？

A. 非課税です。振込手数料や事務手数料などは、課税対象です。

Q. キャンセル(返金)はできますか？

A. 受検申請を行い、受理された受検申請で支払われた受検手数料は理由のいかんにかかわらずキャンセル(返金)できません。また、次回以降の試験への充当もできません。

Q. 請求書の振込口座が昨年と違うのですが？

A. 試験回ごとに振込口座が団体ごとに割り振られる仕組みになっていますので、毎回振込口座が変更になりますのでご指定の口座にお振込みください。

Q. 本人確認書類はどのような書類が該当しますか？

A. <本人確認書類として認められる証明書類の例>

①運転免許証

②健康保険証

③学生証(氏名、生年月日が記載されていること)

※上記の証明書類でも氏名および生年月日が確認できないものは、認められません

※学生の方の場合、所属する学校の責任者(教諭・校長)の署名により、本人確認書類貼付の代替とすることができます(受検申請書の貼付欄内に署名捺印ください)。

※①～③以外の証明書類の場合は、受検サポートセンターまでお問合せください

Q. 郵送申請の受検申請書が届いているか受領の確認をして欲しい。

A. 簡易書留の場合、配送の確認は下記サービスをご利用ください

日本郵便・郵便追跡サービス <https://trackings.post.japanpost.jp/services/srv/search/>

受検サポートセンターでは個別の受け取り確認はいたしませんのでご了承ください。

受検資格について

Q. 受検資格(No.)が複数該当する場合は、どのように受検申請書に記入すれば良いですか？

A. 受検資格が複数の項目で該当する場合でも、記入は1項目で結構です。A~Gの項目で該当する受検資格(短縮要件)を確認いただき、1つをご記入ください。その他の記入は不要です。

免除付受検申請と一部合格について

Q. 過去に学科(実技)試験に合格しているのですが、いつまで有効ですか？

A. 1・2・3級は、永続的に有効です。特級については、合格した日から5年間有効です。

Q. 過去に学科(実技)試験に合格しているのですが、免除付の受検申請はできますか？

A. ①平成27年度以降に技能士合格または一部合格の方(当会実施の試験で合格の方)

→可能です。受検申請書に技能士番号または一部合格通知番号をご記入ください。

技能士番号または合格通知番号が不明の方は下記のサイトで番号を検索できます。

<https://www.cbtsol.com/kikaihozen/result/>

②平成26年度以前に技能士合格または一部合格の方(都道府県実施の試験で合格の方)

→免除付の受検申請はできません。合格後に合格証書交付申請をしてください。

受検票について

Q. 受検票が届かない、紛失してしまった場合は、どうすればいいですか？

A. 発送日から1週間経過してもお手元に届かない場合、受領後に紛失した場合は、受検サポートセンターへお申し出ください。

Q. 試験会場・日程は変更できますか？

A. 受検票に記載の試験会場・日程は変更できません。

受検申請後について

Q. 受検申請後に引越したのですが、手続きは必要ですか？

A. 受検者情報変更連絡書を公式サイトからダウンロードし、受検サポートセンターまでお送りください。
また、受検票や結果通知などが届かない場合がありますので、必ず郵便局の転居・転送サービスなどを利用し、確実に届くようにしてください。
郵便局の台帳に登録されていないと配達されないことがあります。詳細は、郵便局にお問合せください。

Q. 受検申請後に氏名が変わったのですが、手続きは必要ですか？

A. 受検者情報変更連絡書を公式サイトからダウンロードし、氏名が変わったことがわかる書類（戸籍抄本や戸籍謄本など）の控えを受検サポートセンターまでお送りください。

試験の欠席について

Q. 体調が悪い、冠婚葬祭、所用などで試験を欠席します。

A. 欠席のご連絡は不要です。試験日の変更や受検手数料の返金も行いません。また、次回以降の試験への充当もできません。

試験対策本(テキスト)や試験対策講座について

Q. 機械保全技能検定についての勉強方法やテキスト、講座について知りたいのですが？

A. 当会はテキストの発行や、対策講座を実施しておりません。また、個別のご案内も行っておりません。お手数ですが、インターネットなど検索してください。

お問合せ先**機械保全技能検定 受検サポートセンター**

TEL : 03-5209-0553 (平日10:00~17:00) **FAX : 03-5209-0552**

E-mail : kikaihozen@cbt-s.com

※公益社団法人日本プラントメンテナンス協会は、機械保全技能検定業務の一部を株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズに委託しています



厚生労働大臣指定試験機関

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance